

【月刊HMレポート：Vol. 295】 2026年4月号

【可能性拡大と困難克服のマネジメント】シリーズ

このレポートは経営者および経営幹部の皆様のために作成されています！



どんな環境下でも《生産性》を高める起点は

## 社内業務の《連携実現》に向けたルール作り

◇◆◇ ルール経営は単に“法律”を真似た経営ではなかった！ ◇◆◇

### ◆本レポートの内容◆

- |                          |    |    |
|--------------------------|----|----|
| 【1】ルールを定めると“違反者”が出るのはなぜか | …… | 1頁 |
| 【2】単なる約束でも破られると習慣的に罰を設定？ | …… | 2頁 |
| 【3】罰の強制力でルールを守らせる姿勢からの卒業 | …… | 3頁 |
| 【4】逆に生産性向上に繋がるルールはメリットが大 | …… | 4頁 |
| 【5】業務の目的や内容の社内相互理解が全ての起点 | …… | 5頁 |

ルール経営というと、社内に“法律”のような決まり事を導入して組織を率いるというイメージが出てしまうかも知れません。

しかしある経営者は、ビジネス活動以外の機能が無い会社組織が独自の法を作ったり、罰則活用で組織活動を軌道に乗せたりするのがルール経営だと捉えるなら、それは不可能だろうと指摘します。ところがその経営者は、《約束が機能する組織基盤作り》から考え始めるなら、誤解に陥らず、生産性向上に役立つ社内ルール活用法を発見できるとも言われるのです。



社会保険労務士法人 OFFICE KANEKO

TEL : 04-2944-3895

FAX : 04-2944-3627

Mail : [info@office-kaneko.net](mailto:info@office-kaneko.net)

URL : <http://www.office-kaneko.net>

SRヒューマン・マネジメント研究会

私どもでは、人材や組織管理に関わる業務を通じて、広く皆様方のマネジメントをご支援いたしております。そうした活動から得た様々な考え方等を、当事者の皆様にご了解を頂いた上で、事例としてご提供しています。